

漁況予報 いわし

第145号

2008年 1～2月漁期
(2008年1月16日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、11月が23トン、12月が5トン(速報値)で、前年同期(11月:14トン、12月:6トン)と同水準でした。例年と同様にこの時期は漁獲量が減少しました。

佐島地区のまき網には、まとまった漁獲がありませんでした。

魚体は、0歳魚(2007年級群)の中羽マイワシ(15～17cm台)が主体で、1歳魚以上の大羽マイワシはほとんど見られませんでした。

2007年のマイワシ漁は、8月まで好漁で推移したものの9月以降低調となりました。漁獲の主体となった2007年生まれのマイワシは、春先にシラスとして来遊し、その量は近年では比較的多く、7、8月には15cm前後に成長し数多く漁獲されました。しかし、9月以降は、群れが沖合へ移動したためか、ほとんど漁獲されなくなりました。1年間の総漁獲量は、主要定置網で946トン、まき網で87トンの計1,033トンで、漁獲量が少なかった前年値(175トン)及び過去5年平均値(579トン)を上回りましたが、2000年以前の中～高水準期の漁獲量には及ばず、マイワシ資源は依然低水準で推移しているといえます。このため、1歳魚以上の生き残りは少なく、2008年も引き続き0歳魚主体の漁模様が続きますので、これから春先にかけてマシラスがどの程度湾内に来遊するかが年間の総漁獲量を左右するものと考えられます。

【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、11月が11トン、12月が1トン(速報値)で、前年同期(11月:1トン、12月:6トン)と同水準でした。例年と同様にこの時期は漁獲量が減少しました。

佐島地区のまき網は、出漁しても漁獲がほとんどなく11月に1ヶ統で500kgの漁獲があっただけでした。

2007年のカタクチイワシ漁は、例年より1ヶ月半ほど遅れ4月下旬頃から漁が本格化し、盛漁期の7月に漁獲量が伸びませんでした。このため、1年間の総漁獲量は、主要定置網で2,847トン、まき網で141トンの計2,988トンで、漁獲量が非常に多かった前年値(5,210トン)及び過去5年平均値(4,315トン)を下回りました。カタクチイワシ資源は依然高水準で推移しているものの減少傾向にあるといえます。

【しらす】

11月は、前年の2006年同月が好漁であったのとは対照的に低調に推移し、12月はさらに減少しました。9、10月が好漁で推移したため、その後の減少幅は大きかったですが、11、12月ともに過去5年平均値並で、例年この時期は低調な漁模様となっています。

2007年のシラス漁は、解禁直後の3月から近年まれに見る好漁で推移し、4月と9月も過去5年平均値の倍以上の好漁となりました。1年間の総漁獲量は、前年値の1.4倍、過去5年平均値の1.6倍で、特に江の島から平塚地区の湾奥部で豊漁となりました。

＝ 予報 ＝

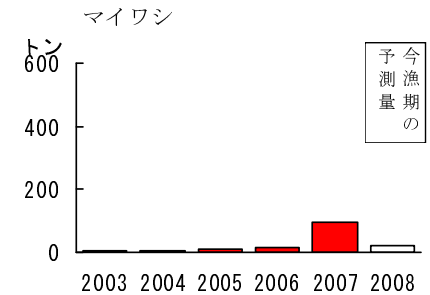
まいわし

今漁期は、中羽マイワシ(1歳魚、2007年級群)が漁獲の主体になるでしょう。

2007年級群の資源量は2005年級群と同水準であることから、今漁期の漁獲量は、2005年級群(1歳時)の漁獲量と同程度と推定され、定置網を主体に約20トンと予測されます。

* 縦軸：主要定置網+まき網の漁獲量

過去5年の1・2月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量

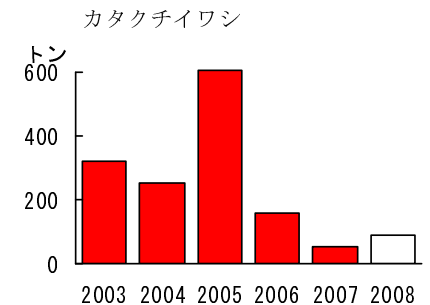


かたくちいわし

今漁期は、小型成魚及び大型成魚が漁獲の主体になるでしょう。

前年10～12月の漁獲量から、今漁期の漁獲量は、約90トンと予測されます。

* 縦軸：主要定置網+まき網の漁獲量

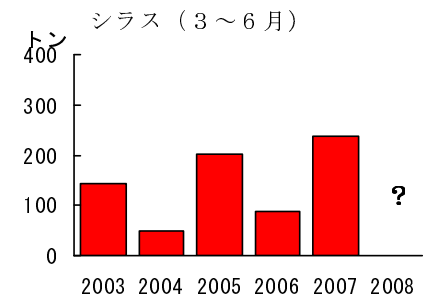


しらす

神奈川県の上りしらす漁業は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当センターでは、解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、禁漁期間中に漁期前調査を実施します。

今回は、横須賀市大楠地区と腰越地区の上りしらす漁業許可船を使用させて頂くことになりました。ありがとうございます。次号で経過報告をします。

本年もよろしくお祈りします！



神奈川県水産技術センター資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313